

水面自走しアオコ退治

長崎大とエビスマリン 開発

長崎大と環境機器製造会社のエビスマリン(長崎市)は29日、植物プランクトンが異常増殖するアオコについて、水面を移動しながら退治する船型のロボットを開発したと発表した。遠隔操作で浅瀬や吹きだまりを含む広い範囲のアオコを処理できるという。



タブレット端末などで遠隔操作できる船型ロボット(後方)

長崎大とエビスマリン

船型ロボット 遠隔操作で水質浄化

従来の固定型の水質浄化装置は機器の周辺しかアオコを処理できなかった。新開発したロボットは遠隔操作で水面を自走。船底の隙間にアオコを取り込んで超音波を照射し、組織内部の気泡を破壊して水底に沈める仕組みだ。あらゆる機器をインターネッ トにつなぐ「インターネット・オブ・シングス(IOT)」の技術を活用。タブレット端末などで手軽に遠隔操作ができる。全長約2.5メートルの船体にセンサーや人工知能、カメラを搭載。自ら考え、障害物を避けながら移動する。長崎大が開発した「魚ロボット」のひれ型推進システムを船尾に備え、スムーズに進む。アオコはダムや湖など水源を汚染し、中国や東南アジアなどで大きな問題になっているという。エビスマリンは2018年の商品化を目指す。寺井良治社長は「市場は世界中にある。価格を500万円程度に抑え、ゆくゆくは世界展開したい」と話した。

(松尾潤)

例年、6〜9月は「熱中症」が多発する時期です。昨年、全国の職場で熱中症により死亡した人

要

熱中症の予防には暑熱しやすさを数値で示した環境の改善が重要です。暑さ指数「WBGT値」は、環境省熱中症予防情報などを利用して直射日光

lw.go.jp/

サセボフーズ社買

庄屋グループ 学校給食へ

「レストラン庄屋」などを運営するフードプラス・ホールディングス(HD、佐世保市)は29日、佐世保重工(SSK)子会社で同市学校給食センターを運営するサセボフーズ&ライフ(同市)について、買収し「西日本ミールサービス」と社名変更した。

大学や企業の食堂で給食事業を拡大しているフードプラスHDと、造船業に特化したSSK側の利害が一致。同日、全株式の譲渡契約を締結した。買収額は非公表。従業員136人の雇用は継続する。

サセボフーズ社はこれまで、市からの業務委託で中学校15校の給食を調理。SSK内の弁当給食も手掛けていた。年間売上高は約3億5千万円。

フードプラスHDにとって学校給食への参入は初めて。買収に伴い、給食事業の売上高は計約7億3千万円になる。

持ち株会社 設立を可決
西日本シティ銀行 株主総会
長崎銀行(長崎市)の親会社、西日本シティ銀行(福岡市)は29日、福岡市内で株主総会を開き、金融持ち株会社「西日本フィナンシャルホールディングス(FH)」を設立する議案が可決された。

JAながさき西海 中期経営計画承認
JAながさき西海(佐世保市、田淵敏視組合長)は29日、北松佐々町の町文化

- 親和銀行 支店副支店管理 高永雄 役(住吉支店)
- 長崎銀行 本店営業部長 俊宏 執行役員本店営業本支店長(本支店)
- 城山支店 支店長(本支店)
- 審査役(本支店)
- 早支店副支店長(本支店)
- 田崎邦春 支店次長(本支店)
- 本店営業部長(本支店)
- 船津耕三 本店副支店長(本支店)
- 池田